

```
In [1]: #青空文庫の江戸川乱歩の影男のテキスト分析
```

```
In [1]: #前処理として、青空文庫の独自タグである《》：ルビと[#]：入力者注を除去。また、本文

# ファイルを開く
with open("C:¥Users¥syuhe¥Downloads¥58486_ruby_68458¥kageotoko.txt", 'r', encoding='utf-8') as f:
    # ファイルの内容を読み込む
    text = f.read()
```

```
In [2]: import re
# 《》で囲まれたルビを除去
text = re.sub(r'《[^》]+》', '', text)

# [#]で囲まれた入力者注を除去
text = re.sub(r'#[^#]+#', '', text)

# 冒頭18行と末尾14行を除去
lines = text.split('\n')
lines = lines[18:-14]
text = '\n'.join(lines)
```

```
In [4]: #spaCyから解析モデルとしてjp_ginzaを指定して適当な文を分かち書き。また、形態素解析の

import spacy

# jp_ginzaモデルを読み込む
nlp = spacy.load("ja_ginza")

# 分かち書きする文
text1 = "彼は美しい花を見つけました"

# テキストを処理してドキュメントを取得
doc = nlp(text1)

# 形態素解析の結果を表示
for token in doc:
    print(f"形態素: {token.text}, 活用形: {token.lemma_}, 品詞: {token.pos_}")
```

```
C:¥Users¥syuhe¥anaconda3¥lib¥site-packages¥spacy¥util.py:910: UserWarning: [W095] Model 'ja_ginza' (5.1.3) was trained with spaCy v3.2.0 and may not be 100% compatible with the current version (3.7.2). If you see errors or degraded performance, download a newer compatible model or retrain your custom model with the current spaCy version. For more details and available updates, run: python -m spacy validate
warnings.warn(warn_msg)
```

```
形態素: 彼, 活用形: 彼, 品詞: PRON
形態素: は, 活用形: は, 品詞: ADP
形態素: 美しい, 活用形: 美しい, 品詞: ADJ
形態素: 花, 活用形: 花, 品詞: NOUN
形態素: を, 活用形: を, 品詞: ADP
形態素: 見つけ, 活用形: 見つける, 品詞: VERB
形態素: まし, 活用形: ます, 品詞: AUX
形態素: た, 活用形: た, 品詞: AUX
```

```
In [5]: #影男のテキストデータの分かち書きした結果の冒頭10行。
```

```
import spacy

# spaCyのja_ginzaモデルをロード
nlp = spacy.load("ja_ginza")

# spaCyを使用して1段落目の文を解析
```

```

paragraphs = text.split('¥n¥n')
first_paragraph = paragraphs[0]
doc = nlp(first_paragraph)
word_count = 0
# 分かち書きした結果を表示
# 最初の10単語までを表示
for i, token in enumerate(doc):
    if i < 10:
        print(f"形態素: {token.text}, 活用形: {token.lemma_}, 品詞: {token.pos_}")
    else:
        break

```

形態素:
 , 活用形:
 , 品詞: NOUN
 形態素: 三十二, 活用形: 三十二, 品詞: NUM
 形態素: 、, 活用形: 、, 品詞: PUNCT
 形態素: 三, 活用形: 三, 品詞: NUM
 形態素: 歳, 活用形: 歳, 品詞: NOUN
 形態素: に, 活用形: に, 品詞: ADP
 形態素: 見える, 活用形: 見える, 品詞: VERB
 形態素: やせ型, 活用形: やせ型, 品詞: NOUN
 形態素: の, 活用形: の, 品詞: ADP
 形態素: 男, 活用形: 男, 品詞: NOUN

```

In [6]: # テキストの分割
chunk_size = 1000 # 適切なサイズに調整
chunks = [text[i:i+chunk_size] for i in range(0, len(text), chunk_size)]
# 各chunkに含まれる改行文字と全角スペースを削除
chunks = [chunk.replace('¥n', '').replace('¥u3000', '') for chunk in chunks]

# ストップワードと品詞の指定
stopwords = {'する', 'ある', 'ない', 'いう', 'もの', 'こと', 'よう', 'なる', 'ほう'}
include_pos = {'NOUN', 'VERB', 'ADJ'}

filtered_words = []

```

```

In [7]: for chunk in chunks:
        doc = nlp(chunk)
        filtered_words.extend([token.text for token in doc if token.text not in stopwo

```

```

In [5]: # 影男のテキストデータの使用頻度の高い単語上位10個とその回数を表示.
import spacy
from collections import Counter

# テキストの分割
chunk_size = 1000
chunks = [text[i:i+chunk_size] for i in range(0, len(text), chunk_size)]
# 各chunkに含まれる改行文字と全角スペースを削除
chunks = [chunk.replace('¥n', '').replace('¥u3000', '') for chunk in chunks]

# ストップワードと品詞の指定
stopwords = {'する', 'ある', 'ない', 'いう', 'もの', 'こと', 'よう', 'なる', 'ほう'}
include_pos = {'NOUN', 'VERB', 'ADJ'}

# 結果を格納するリストを初期化
all_filtered_words = []

for chunk in chunks:
    # spacyを使用して各chunkを処理
    doc = nlp(chunk)
    # ストップワードと指定した品詞を考慮して単語を抽出
    filtered_words = [token.text for token in doc]
    # 結果をリストに追加

```

```

all_filtered_words.extend(filtered_words)

# 単語の使用頻度をカウント
word_counts = Counter(filtered_words)

# 全体の単語の使用頻度を計算
word_counts_all = Counter(all_filtered_words)

# 全体の単語の使用頻度上位10件を表示
top_words_all = word_counts_all.most_common(10)
print("全体の単語の使用頻度上位10件:", top_words_all)

```

全体の単語の使用頻度上位10件: [('、', 6700), ('の', 5921), ('。', 4475), ('て', 3499), ('た', 3488), ('に', 3444), ('は', 2835), ('を', 2621), ('が', 2519), ('と', 1852)]

In [10]: #指定したストップワードと品詞を除き、使用頻度の高い単語上位10件とその回数を同様に示す

```

# 結果を格納するリストを初期化
all_filtered_words = []
for chunk in chunks:
    # spacyを使用して各chunkを処理
    doc = nlp(chunk)
    # ストップワードと指定した品詞を考慮して単語を抽出
    filtered_words = [token.text for token in doc if token.text not in stopwords and token.pos not in stop_pos]
    # 結果をリストに追加
    all_filtered_words.extend(filtered_words)

# 単語の使用頻度をカウント
word_counts = Counter(filtered_words)

# 全体の単語の使用頻度を計算
word_counts_all = Counter(all_filtered_words)

# 全体の単語の使用頻度上位10件を表示
top_words_all = word_counts_all.most_common(10)
print("全体の単語の使用頻度上位10件:", top_words_all)

```

全体の単語の使用頻度上位10件: [('い', 730), ('いる', 524), ('し', 413), ('あっ', 334), ('なっ', 236), ('お', 225), ('中', 213), ('人', 207), ('いっ', 202), ('男', 201)]

In [13]: #共起する単語ペア上位10件とその回数を示す。なお、ストップワードの指定は以前と同じ。

```

from itertools import combinations
from collections import Counter

# ストップワードと品詞の指定
stopwords_set = set(['する', 'ある', 'ない', 'いう', 'もの', 'こと', 'よう', 'なる', 'など'])
include_pos = {'NOUN', 'VERB', 'ADJ'}

# 共起する単語ペアのリストを初期化
co_occurrence_pairs = []

for chunk in chunks:
    # spacyを使用して各chunkを処理
    doc = nlp(chunk)
    # ストップワードと指定した品詞を考慮して単語を抽出
    filtered_words = [token.text for token in doc if token.text not in stopwords_set and token.pos in include_pos]
    # 共起する単語ペアを取得
    pairs = list(combinations(filtered_words, 2))
    # 共起する単語ペアのリストに追加
    co_occurrence_pairs.extend(pairs)

# 共起回数をカウント
co_occurrence_counts = Counter(co_occurrence_pairs)

```

```
co_occurrence_counts = Counter(co_occurrence_pairs)
```

```
# 共起回数上位10件を表示
```

```
top_co_occurrence_pairs = co_occurrence_counts.most_common(10)
print("共起する単語ペア上位10件とその回数:", top_co_occurrence_pairs)
```

```
共起する単語ペア上位10件とその回数: [(('い', 'い'), 2194), (('い', 'いる'), 1392),
(('いる', 'い'), 1130), (('いる', 'いる'), 1070), (('あっ', 'い'), 1049), (('い',
'あっ'), 973), (('い', 'し'), 896), (('し', 'い'), 853), (('し', 'いる'), 743),
(('いる', 'し'), 681)]
```

In [29]: # “世界”と“地底”が共起する原文を抽出し、全て列挙。

```
# 共起の抽出
```

```
co_occurrences = []
```

```
for chunk in chunks:
    doc = nlp(chunk)
    for sent in doc.sents:
        if '世界' in sent.text and '地底' in sent.text:
            co_occurrences.append(sent.text)
```

```
# 共起する原文を列挙
```

```
for co_occurrence in co_occurrences:
    print(co_occurrence)
```

まず地底の別世界をゆっくりお楽しみください。

「人界のことばを忘れさせ、人界のあかを落とし、人界の衣服もとりかえて、これから地底の別世界の住人となるのだな。

そして、このすばらしい原理を応用して、地底に無限の別世界を創造しようと考えたのです。

そういうおかたは、この地底世界へおつれすることさえむずかしい。

かれはそこでは、いつものゆすりを行なう気にもならず、地底の主人公のちょびひげ紳士と親交を約して別れをつけ、地上世界に立ち帰った。

むろん、地底世界のつづきなのだ。

この地底世界に、それほどの巨資があるのであろうか。

このまえにちょびひげがいていたのでは、地底世界

地上世界の見せ物でこんなことをやれば、すぐに種がわかってしまうが、地底の洞窟という好条件がある。

洞窟にはいつてから二時間あまり、黒いメフィストは時を忘れ、追われている身を忘れ、地上のいっさいの煩いを忘れ、艶樹の森と、地底世界をどよもす音楽と、歌声と、踊り狂う五面十脚の美しい怪獣とに、果てしもなく酔いしれていたが、ふと気がつくと、またしても、ただならぬ奇怪事が起こっていた。

どうしてこの地底世界へ、警官がはいりこんできたのか。

地底世界の経営者が内通したのだろうか。

すると、こういうおもしろい地底の世界を見せてくれた。

「それにしても、明智先生は、この地底の世界へははじめて来られたのでしょうか。

一方、ぼくは地底世界で、ちょっと荒療治をやった。

地底世界の様子が、あらましわかった。

それから、ちょびひげを脅迫して、池のシリンダーを浮き上がらせ、待機していた十人の警官を地底世界に引き入れた。

この世の果て明智小五郎は、中村警部やその部下とともに、地底世界の入り口に近いいわゆる事務室にもどっていた。

二つの世界で、わたしの地底王国はいっぱいですよ」

In [23]: #spaCyから解析モデルとしてjp_ginzaを指定して適当な文の係り受けを解析。また、解析結果#表層形、原形、品詞、その語に係る語からの係り受け種類、受ける語(のリスト)
#さらに、display.render()メソッドを利用して係り受けを図示。

```
import spacy
from spacy import displacy
doc = nlp(chunks[0])
```

```
# 表形式で係り受け解析結果を表示
```

```
table_header = ["表層形", "原形", "品詞", "係り受け種類", "受ける語(のリスト)"]
table_data = []
```

```
for token in doc:
    head = token.head
    table_data.append([
        token.text,          # 表層形
        token.lemma_,        # 原形
        token.pos_,          # 品詞
        token.dep_,          # 係り受け種類
        head.text if head != token else 'ROOT' # 受ける語
    ])

# 表形式で表示
print("{:<15} {:<15} {:<15} {:<25} {:<25}".format(*table_header))
for row in table_data:
    print("{:<15} {:<15} {:<15} {:<25} {:<25}".format(*row))

# 係り受け解析を図示
displacy.render(doc, style='dep', options={'distance': 80})
```

表層形 受ける語(のリスト)	原形	品詞	係り受け種類	
三十二 る	三十二	NUM	advcl	見え
、 三 歳 に 見える 型 やせ型 の 男 が 、 張 ホテル の 玄関 を はいっ こん て 、 カウンター うしろ の 一 うしろ の 支配人 室 へ 踏みこん っ で いっ た 。 ずんぐり と 背 が 低く て 丸々 と 太っ た ちよびひげ 支配人 の げ 支配人 くっ が デスク っ に 向かっ くっ て 帳簿 っ	、 三 歳 に 見える やせ型 の 男 が 、 張 ホテル の 玄関 を はいる て 、 カウンター の うしろ の 支配人 室 へ 踏みこむ で いく た 。 ずんぐり と 背 が 低い て 丸々 と 太る た ちよびひげ の 支配人 が デスク に 向かう て 帳簿	PUNCT NUM NOUN ADP VERB NOUN ADP NOUN ADP VERB SCONJ PUNCT NOUN ADP NOUN ADP NOUN ADP VERB SCONJ PUNCT ADJ ADP NOUN ADP ADJ SCONJ ADV ADP VERB AUX PROPN ADP NOUN ADP NOUN ADP VERB SCONJ NOUN	punct nummod obl case acl nmod case nsubj case punct compound nmod case obj case advcl mark punct nmod case nmod case compound obl case advcl mark ROOT aux punct nmod case nsubj case advcl mark advmod case acl aux nmod case nsubj case obl case advcl mark obj	三十二 歳 見える 歳 やせ 男 やせ型 はいっ 男 男 ホテル 玄関 ホテル はいっ 玄関 踏み はいっ はいっ カウンタ 室 うしろ 室 踏みこん 室 い 踏みこん ROOT いっ いっ 背 ずんぐり 低く 背 太っ 低く 太っ 丸々 支配人 太っ ちよびひ いじ 支配人 向か デスク いじ 向かっ いじく

を	を	ADP	case	帳簿
いじくっ	いじくる	VERB	ROOT	RO
OT				
て	て	SCONJ	mark	いじくっ
い	いる	VERB	fixed	て
た	た	AUX	aux	いじくっ
。	。	PUNCT	punct	いじくっ
そば	そば	NOUN	nmod	ざら
の	の	ADP	case	そば
灰	灰	NOUN	compound	ざら
ざら	ざら	NOUN	obl	のせ
に	だ	ADP	case	ざら
のせ	のせる	VERB	advcl	なっ
た	た	AUX	aux	のせ
半分	半分	ADV	obl	なっ
ほど	ほど	ADP	case	半分
に	に	ADP	case	半分
なっ	なる	VERB	acl	半分
た	た	AUX	aux	葉巻き
葉巻き	葉巻き	NOUN	obl	なっ
のぼっ				立ち
から	から	ADP	case	葉巻き
、	、	PUNCT	punct	葉巻き
細い	細い	ADJ	acl	紫色
紫色	紫色	NOUN	nmod	煙
の	の	ADP	case	紫色
煙	煙	NOUN	nsubj	立ちのぼ
っ				
が	が	ADP	case	煙
ほとんど	ほとんど	ADV	advmod	立
ちのぼっ				
まっすぐ	まっすぐ	ADJ	advcl	立
ちのぼっ				
に	だ	AUX	aux	まっすぐ
立ちのぼっ	立ちのぼる	VERB	ROOT	
ROOT				
て	て	SCONJ	mark	立ちのぼ
っ				
い	いる	VERB	fixed	て
た	た	AUX	aux	立ちのぼ
っ				
。	。	PUNCT	punct	立ちのぼ
っ				
ハバナ	ハバナ	PROPN	nmod	かお
り				
の	の	ADP	case	ハバナ
かおり	かおり	PROPN	nsubj	漂っ
が	が	ADP	case	かおり
何	何	PRON	obl	漂っ
か	か	ADP	case	何
猥	猥	NOUN	dep	何
※	※	SYM	punct	猥
な	だ	AUX	case	猥
感じ	感じ	NOUN	obl	漂っ
で	で	ADP	case	感じ
漂っ	漂う	VERB	ROOT	ROOT
て	て	SCONJ	mark	漂っ
い	いる	VERB	fixed	て
た	た	AUX	aux	漂っ
。	。	PUNCT	punct	漂っ
「	「	PUNCT	punct	来
来	来る	VERB	ROOT	ROOT
て	て	SCONJ	mark	来
いる	いる	VERB	fixed	て

ね	ね	PART	mark	来
?	?	PUNCT	punct	来
」	」	PUNCT	punct	来
やせ型	やせ型	ADJ	nmod	男
の	の	ADP	case	やせ型
男	男	NOUN	nsubj	笑っ
が	が	ADP	case	男
ニヤッ	ニヤッ	NOUN	obl	笑っ
と	と	ADP	case	ニヤッ
笑っ	笑う	VERB	advcl	たずね
て	て	SCONJ	mark	笑っ
たずね	たずねる	VERB	ROOT	R00
↑				
た	た	AUX	aux	たずね
。	。	PUNCT	punct	たずね
「	「	PUNCT	punct	うん
うん	うん	INTJ	dep	来
、	、	PUNCT	punct	うん
来	来る	VERB	ROOT	ROOT
て	て	SCONJ	mark	来
いる	いる	VERB	fixed	て
。	。	PUNCT	punct	来
もう	もう	ADV	advmod	始まっ
始まっ	始まる	VERB	acl	ころ
て	て	SCONJ	mark	始まっ
いる	いる	VERB	fixed	て
ころ	ころ	NOUN	ROOT	ROOT
だ	だ	AUX	cop	ころ
よ	よ	PART	mark	ころ
」	」	PUNCT	punct	ころ
「	「	PUNCT	punct	行く
じゃあ	じゃあ	CCONJ	cc	行く
、	、	PUNCT	punct	行く
あの	あの	DET	det	へや
へや	へや	NOUN	obl	行く
へ	へ	ADP	case	へや
行く	行く	VERB	ROOT	ROOT
よ	よ	PART	mark	行く
」	」	PUNCT	punct	行く
「	「	PUNCT	punct	いい
いい	いい	ADJ	advcl	ない
とも	とも	NOUN	mark	いい
、	、	PUNCT	punct	いい
見つかり	見つかる	PROPN	compound	っ
こ				
っこ	っこ	NOUN	nsubj	ない
は	は	ADP	case	っこ
ない	ない	ADJ	advcl	用心
が	が	SCONJ	mark	ない
、	、	PUNCT	punct	ない
せいぜい	せいぜい	ADV	advmod	用
心				
用心	用心	VERB	ROOT	ROOT
し	する	AUX	aux	用心
て	て	SCONJ	mark	用心
ね	ね	PART	mark	用心
」	」	PUNCT	punct	用心
やせ型	やせ型	ADJ	nmod	男
の	の	ADP	case	やせ型
男	男	NOUN	nsubj	着
は	は	ADP	case	男
ネズミ色	ネズミ色	PROPN	nmod	セ
ビロ				
の	の	ADP	case	ネズミ色

セビロ	セビロ	NOUN	obj	着
を	を	ADP	case	セビロ
着	着る	VERB	advcl	はい
て	て	SCONJ	mark	着
、	、	PUNCT	punct	着
ネズミ色	ネズミ色	PROPN	nmod	ワ
イシャツ				
の	の	ADP	case	ネズミ色
ワイシャツ	ワイシャツ	NOUN	nmod	
ネクタイ				
、	、	PUNCT	punct	ワイシャ
ツ				
ネズミ色	ネズミ色	PROPN	nmod	ネ
クタイ				
の	の	ADP	case	ネズミ色
ネクタイ	ネクタイ	NOUN	obl	は
い				
、	、	PUNCT	punct	ネクタイ
くつ	くつ	NOUN	obl	はい
まで	まで	ADP	case	くつ
ネズミ色	ネズミ色	PROPN	nmod	も
の				
のもの	のもの	ADP	case	ネズミ色
を	を	NOUN	obj	はい
はい	はく	ADP	case	もの
て	て	VERB	ROOT	ROOT
いた	いる	SCONJ	mark	はい
。	た	VERB	fixed	て
	た	AUX	aux	はい
どんな	。	PUNCT	punct	はい
背景	どんな	PRON	nmod	背景
の	背景	NOUN	nmod	前
前	の	ADP	case	背景
でも	前	NOUN	obl	目だた
も	でも	ADP	case	前
最も	も	ADP	case	前
目だた	最も	ADV	advmod	目だた
ない	目だつ	VERB	advcl	ない
服装	ない	ADJ	acl	服装
で	服装	NOUN	ROOT	ROOT
あつ	だ	AUX	cop	服装
た	ある	VERB	fixed	で
。	た	AUX	aux	服装
かれ	。	PUNCT	punct	服装
がり	かれ	PRON	nsubj	駆け上
は				
まったく	は	ADP	case	かれ
て	まったく	ADV	advmod	た
足音				
を	足音	NOUN	obj	たて
たて	を	ADP	case	足音
上がり	たてる	VERB	advcl	駆け
ない				
で	ない	AUX	aux	たて
階段	で	SCONJ	mark	たて
がり	階段	NOUN	obj	駆け上
を				
駆け上がり	を	ADP	case	階段
ひらい	駆け上がる	VERB	advcl	
、	、	PUNCT	punct	駆け上が
り				
二	二	NUM	nummod	階
階	階	NOUN	obl	奥まっ

の	の	ADP	case	階
ずっと	ずっと	ADV	advmod	奥ま
っ				
奥まっ	奥まる	VERB	acl	一室
た	た	AUX	aux	奥まっ
一室	一室	NOUN	nmod	ドア
の	の	ADP	case	一室
ドア	ドア	NOUN	obj	ひらい
を	を	ADP	case	ドア
そっと	そっと	ADV	advmod	ひら
い				
ひらい	ひらく	VERB	advcl	つけ
て	て	SCONJ	mark	ひらい
、	、	PUNCT	punct	ひらい
中	中	NOUN	obl	すべりこ
む				
に	に	ADP	case	中
すべりこむ	すべりこむ	NOUN	obl	
つけ				
と	と	ADP	case	すべりこ
む				
、	、	PUNCT	punct	すべりこ
む				
電灯	電灯	NOUN	nsubj	つけ
も	も	ADP	case	電灯
つけ	つける	VERB	advcl	隠し
ず	ず	AUX	aux	つけ
、	、	PUNCT	punct	つけ
一方	一方	NOUN	nmod	壁
の	の	ADP	case	一方
壁	壁	NOUN	obl	ある
に	に	ADP	case	壁
ある	ある	VERB	acl	押し入
れ				
押し入れ	押し入れ	NOUN	nmod	戸
の	の	ADP	case	押し入れ
戸	戸	NOUN	obj	カギ
を	を	ADP	case	戸
用意	用意	NOUN	nmod	カギ
の	の	ADP	case	用意
カギ	カギ	NOUN	dep	つけ
で	で	AUX	cop	カギ
ひらき	ひらく	NOUN	dep	つけ
、	、	PUNCT	punct	ひらき
その	その	DET	det	中
中	中	NOUN	obl	隠し
へ	へ	ADP	case	中
身	身	NOUN	obj	隠し
を	を	ADP	case	身
隠し	隠す	VERB	ROOT	ROOT
た	た	AUX	aux	隠し
。	。	PUNCT	punct	隠し
まっくら	まっくら	ADJ	advcl	知
っ				
だ	だ	AUX	cop	まっくら
けれど	けれど	SCONJ	mark	まっ
くら				
、	、	PUNCT	punct	まっくら
かれ	かれ	PRON	nsubj	知っ
は	は	ADP	case	かれ
その	その	DET	det	へや
へや	へや	NOUN	nmod	構造
の	の	ADP	case	へや
構造	構造	NOUN	obj	とる

を	を	ADP	case	構造
手	手	NOUN	obl	とる
に	に	ADP	case	手
とる	とる	VERB	advcl	知っ
よう	よう	AUX	aux	とる
に	だ	AUX	aux	とる
知っ	知る	VERB	ROOT	ROOT
て	て	SCONJ	mark	知っ
い	いる	VERB	fixed	て
た	た	AUX	aux	知っ
。	。	PUNCT	punct	知っ
そこ	そこ	PRON	nsubj	へや
は	は	ADP	case	そこ
普通	普通	NOUN	nmod	ホテル
の	の	ADP	case	普通
ホテル	ホテル	NOUN	nmod	客間
の	の	ADP	case	ホテル
客間	客間	NOUN	nmod	へや
で	だ	ADP	case	客間
、	、	PUNCT	punct	客間
寝室	寝室	NOUN	nmod	居間
と	と	ADP	case	寝室
居間	居間	NOUN	obj	兼ね
と	と	ADP	case	居間
を	を	ADP	case	居間
兼ね	兼ねる	VERB	acl	へや
た	た	AUX	aux	兼ね
五	五	NUM	nummod	坪
坪	坪	NOUN	nmod	狭い
ほど	ほど	ADP	case	坪
の	の	ADP	case	坪
狭い	狭い	ADJ	acl	へや
へや	へや	NOUN	ROOT	ROOT
で	だ	AUX	cop	へや
あっ	ある	VERB	fixed	で
た	た	AUX	aux	へや
。	。	PUNCT	punct	へや
一方	一方	NOUN	nmod	壁
の	の	ADP	case	一方
壁	壁	NOUN	obl	造り
に	に	ADP	case	壁
押し入れ	押し入れ	NOUN	nmod	よ
う				
の	の	ADP	case	押し入れ
よう	よう	NOUN	advcl	造り
に	だ	AUX	cop	よう
造り	造る	VERB	acl	戸だな
つけ	つける	AUX	aux	造り
た	た	AUX	aux	造り
洋服	洋服	NOUN	compound	戸だな
戸だな	戸だな	NOUN	nsubj	あっ
が	が	ADP	case	戸だな
あっ	ある	VERB	advcl	忍びこ
ん				
て	て	SCONJ	mark	あっ
、	、	PUNCT	punct	あっ
かれ	かれ	PRON	nsubj	忍びこ
ん				
が	が	ADP	case	かれ
忍びこん	忍びこむ	VERB	advcl	戸
だな				
だ	だ	AUX	aux	忍びこん
の	の	SCONJ	mark	忍びこん
は	は	ADP	case	忍びこん

、	、	PUNCT	punct	忍びこん
その	その	DET	det	からっ
ぽ				
からっぽ	からっぽ	NOUN	nmod	戸
だな				
の	の	ADP	case	からっぽ
洋服	洋服	NOUN	compound	戸だな
戸だな	戸だな	NOUN	ROOT	ROOT
で	だ	AUX	cop	戸だな
あっ	ある	VERB	fixed	で
た	た	AUX	aux	戸だな
。戸だな	。戸だな	PUNCT	punct	戸だな
の	の	NOUN	nmod	中
中	中	ADP	case	戸だな
は	は	NOUN	nsubj	明るく
パッ	パッ	ADP	case	中
と	と	ADV	nmod	目
目	目	ADP	case	パッ
も	も	NOUN	nsubj	くらむ
くらむ	くらむ	ADP	case	目
く		NOUN	obl	明る
ほど	ほど	ADP	case	くらむ
明るく	明るい	ADJ	advcl	あふ
れ				
、	、	PUNCT	punct	明るく
ギラギラ	ギラギラ	ADV	dep	明
るく				
し	する	AUX	aux	ギラギ
ラ				
た	た	AUX	aux	ギラギラ
異様	異様	ADJ	nmod	光線
の	の	ADP	case	異様
光線	光線	NOUN	obl	あふれ
に	に	ADP	case	光線
あふれ	あふれる	VERB	ROOT	R00
T				
て	て	SCONJ	mark	あふれ
いた	いる	VERB	fixed	て
た	た	AUX	aux	あふれ
。そこ	。そこ	PUNCT	punct	あふれ
の	の	PRON	nmod	壁
正面	正面	ADP	case	そこ
の	の	NOUN	nmod	壁
壁	壁	ADP	case	正面
に	に	NOUN	obl	ある
三	三	ADP	case	壁
尺	尺	NUM	compound	四方
四方	四方	NOUN	compound	四方
も	も	NOUN	nsubj	ある
ある	ある	ADP	case	四方
一	一	VERB	acl	窓
枚	枚	NUM	compound	ガラス
ガラス	ガラス	NOUN	compound	ガラス
ーウインドー			nmod	シヨ
の	の	ADP	case	ガラス
ショーウインドー	ショーウインドー	NOUN	accl	
窓				
みたい	みたい	AUX	aux	シヨ
ーウインドー				
な	だ	AUX	cop	ショーウ
インドー				
窓	窓	NOUN	nsubj	ひらい

が	が	ADP	case	窓
ひらい	ひらく	VERB	ROOT	ROOT
て	て	SCONJ	mark	ひらい
い	いる	VERB	fixed	て
た	た	AUX	aux	ひらい
から	から	SCONJ	mark	ひらい
で	だ	AUX	aux	ひらい
ある	ある	VERB	fixed	で
。	。	PUNCT	punct	ひらい
なん	なん	PRON	obl	押し入
れ				
と	と	ADP	case	なん
も	も	ADP	case	なん
不思議	不思議	NOUN	obl	千万
千万	千万	ADJ	acl	押し入
れ				
な	だ	AUX	aux	千万
押し入れ	押し入れ	NOUN	advcl	シ
ヨーウィンドー				
だ	だ	AUX	cop	押し入れ
が	が	SCONJ	mark	押し入れ
、	、	PUNCT	punct	押し入れ
これ	これ	PRON	nsubj	男
は	は	ADP	case	これ
やせ型	やせ型	ADJ	nmod	男
の	の	ADP	case	やせ型
男	男	NOUN	nsubj	与え
が	が	ADP	case	男
、	、	PUNCT	punct	男
太っちょ	太っちょ	NOUN	nmod	支
配人				
の	の	ADP	case	太っちょ
支配人	支配人	NOUN	obl	与え
に	に	ADP	case	支配人
十万	十万	NUM	compound	円
円	円	NOUN	nmod	わいろ
の	の	ADP	case	円
わいろ	わいろ	NOUN	obj	与え
を	を	ADP	case	わいろ
与え	与える	VERB	acl	うえ
た	た	AUX	aux	与え
うえ	うえ	NOUN	nmod	ショー
ウィンドー				
、	、	PUNCT	punct	うえ
経費	経費	NOUN	obl	二十万
二十万	二十万	NUM	advmod	支出
円	円	NOUN	obj	支出
を	を	ADP	case	円
支出	支出	VERB	advcl	さ
し	する	AUX	aux	支出
て	て	SCONJ	mark	支出
、	、	PUNCT	punct	支出
ひそか	ひそか	ADJ	advcl	さ
に	だ	AUX	aux	ひそか
工事	工事	NOUN	obj	さ
を	を	ADP	case	工事
さ	する	VERB	acl	ショー
ウィンドー				
せ	せる	AUX	aux	さ
た	た	AUX	aux	さ
ショーウィンドー	ショーウィンドー	NOUN	ROOT	
ROOT				
で	だ	AUX	cop	ショーウ
インドー				

あつ	ある	VERB	fixed	で
た	た	AUX	aux	ショーウ
インドー				
。	。	PUNCT	punct	ショーウ
インドー				
警察	警察	NOUN	obl	のぞき
見				
で	で	ADP	case	警察
被疑者	被疑者	NOUN	nmod	言動
の	の	ADP	case	被疑者
言動	言動	NOUN	obj	のぞき
見				
を	を	ADP	case	言動
のぞき見	のぞき見	VERB	advcl	く
ふう				
する	する	AUX	aux	のぞき
見				
ため	ため	SCONJ	mark	のぞき
見				
に	に	SCONJ	fixed	ため
くふう	くふう	VERB	acl	鏡
さ	する	AUX	aux	くふう
れ	れる	AUX	aux	くふう
た	た	AUX	aux	くふう
、	、	PUNCT	punct	くふう
表面	表面	NOUN	nsubj	鏡
は	は	ADP	case	表面
鏡	鏡	NOUN	advcl	透き通っ
で	だ	AUX	cop	鏡
、	、	PUNCT	punct	鏡
裏側	裏側	NOUN	obl	見れ
から	から	ADP	case	裏側
見れ	見る	VERB	advcl	透き通
っ				
ば	ば	SCONJ	mark	見れ
普通	普通	NOUN	nmod	ガラス
の	の	ADP	case	普通
ガラス	ガラス	NOUN	nmod	よう
の	の	ADP	case	ガラス
よう	よう	NOUN	advcl	透き通
っ				
に	だ	AUX	cop	よう
透き通っ	透き通る	VERB	acl	仕
掛け				
て	て	SCONJ	mark	透き通っ
いる	いる	VERB	fixed	て
と	と	ADP	case	透き通っ
いう	いう	VERB	fixed	と
、	、	PUNCT	punct	透き通っ
あの	あの	DET	det	仕掛け
仕掛け	仕掛け	NOUN	ROOT	ROOT
な	だ	AUX	cop	仕掛け
の	の	SCONJ	mark	仕掛け
で	だ	AUX	fixed	の
ある	ある	VERB	fixed	の
。	。	PUNCT	punct	仕掛け
この	この	DET	det	工事
工事	工事	NOUN	nmod	壁
の	の	ADP	case	工事
壁	壁	NOUN	obj	くり抜く
を	を	ADP	case	壁
くり抜く	くり抜く	VERB	advcl	使
っ				
仕事	仕事	NOUN	punct	くり抜

く				
は	は	ADP	case	仕事
、	、	PUNCT	punct	仕事
幾	幾	NUM	nummod	人
人	人	NOUN	obl	やら
も	も	ADP	case	人
の	の	ADP	case	人
別々	別々	ADJ	nmod	職人
の	の	ADP	case	別々
職人	職人	NOUN	obl	やら
に	に	ADP	case	職人
一部分	一部分	NOUN	obl	やら
ずつ	ずつ	ADP	case	一部分
やら	やる	VERB	dep	仕事
せて	せる	AUX	aux	やら
て	て	SCONJ	mark	やら
、	、	PUNCT	punct	やら
ガラス	ガラス	NOUN	nmod	取り
替え				
の	の	ADP	case	ガラス
取り替え	取り替え	NOUN	nsubj	使
っ				
は	は	ADP	case	取り替え
、	、	PUNCT	punct	取り替え
ガラス	ガラス	NOUN	compound	工場
工場	工場	NOUN	obl	届け
から	から	ADP	case	工場
届け	届ける	VERB	acl	ガラ
ス				
られ	られる	AUX	aux	届け
た	た	AUX	aux	届け
仕掛け	仕掛け	NOUN	compound	ガラ
ス				
ガラス	ガラス	NOUN	obj	使っ
を	を	ADP	case	ガラス
、	、	PUNCT	punct	ガラス
深夜	深夜	NOUN	compound	ひそか
ひそか	ひそか	ADJ	advcl	使っ
に	だ	AUX	aux	ひそか
支配人	支配人	NOUN	compound	はめ
こみ				
みずから	みずから	NOUN	compound	は
めこみ				
はめこみ	はめこむ	VERB	obl	慣
れ				
、	、	PUNCT	punct	はめこみ
慣れ	慣れる	VERB	acl	コテ
ぬ	ぬ	AUX	aux	慣れ
コテ	コテ	NOUN	obj	使っ
を	を	ADP	case	コテ
使っ	使う	VERB	advcl	塗っ
て	て	SCONJ	mark	使っ
、	、	PUNCT	punct	使っ
周囲	周囲	NOUN	obl	塗っ
に	に	ADP	case	周囲
モルタル	モルタル	NOUN	obj	塗
っ				
を	を	ADP	case	モルタル
塗っ	塗る	VERB	ROOT	ROOT
た	た	AUX	aux	塗っ
の	の	SCONJ	mark	塗っ
で	だ	AUX	fixed	の
ある	ある	VERB	fixed	の
。	。	PUNCT	punct	塗っ

16/17

